



季節の行事を楽しもう！！



新緑の若葉にすがすがしさを感じる季節になりました。
5月といえばゴールデンウィーク。5月5日は**こどもの日**です。
風に吹かれてなびく鯉のぼりを思い浮かべる人も多いと思います。
この日の風習や食べ物などについてご紹介します。

こどもの日の始まり

元々5月5日は、「**端午の節句**」で、男の子の健やかな成長や幸せを祈って、お祝いする日でした。



1948年5月5日



に改定

こどもの日は、子供たちが元気に育ち、大きくなったことをお祝いする日です。
また、子供のお祝いだけでなく、「**お母さんに感謝する**」という意味もあります。



こどもの日の風習とは！



柏餅

柏の木の葉は、新芽が出るまで古い葉が落ちることのない「柏」の木になぞらえ、「**子孫が絶えずに、末永く続きますように**」という、お家繁栄の願いが込められています。

ちまき

ちまきはもち米で作られた餅を笹の葉などで包んで蒸したものです。以前は茅(ちがや)という葉で巻かれており、中国で茅が邪気を払うものとされていたことから「**悪いことが起こらないように**」という願いを込めて食べられるようになりました。



菖蒲湯

菖蒲湯とは、菖蒲の根や葉を入れて沸かすお風呂のことです。菖蒲は邪気を払う力があるとされている植物で、**リラックス効果**や健康面でも効果があります。

兜(かぶと)

兜や鎧は身を守る為の道具です。飾ることで、病気や事故などから男児を守り、**困難に勝ち、丈夫に成長**してほしいという願いが込められています。

